

副議長選挙に係る所信表明

杉田源太郎議員

日本共産党市議会議員団の杉田源太郎です。

地方議会の基本的機能は、第1に「地域住民の意思を代表する機能」、第2に「自治立法権に基づく立法機能」、第3に「執行機関に対する監視機能」を持つことです。

市民が議会に求めていることは、1つには「住民の利益を十分反映して活発に議論を行うこと」、2つには「住民本位の条例を検討しつくること」、3つには「執行機関である行政に対し、質疑・質問等でなれ合いのない監視、批判が住民の立場に立ってきちんと行われていること」などです。

議会が住民の代表機関としての役割を、その機能にふさわしく果たしているか今後の議会活動において鋭く問われます。議会・委員会等の記録はHPで映像・記録として閲覧ができます。

2024年度においても傍聴・映像配信・会議録等から発言内容に対して市民のみなさんから意見感想が多く寄せられます。特に今年度は高校生との意見交換の場として議会報告会が行われました。若い方たちに議会のあり方を知ってもらいながら、私たちは議会に求められていることを、しっかり行っていかなければなりません。

この数年間、予算決算審査特別委員会の行い方、議会改革についても試行を続けています。その中で行政に対するチェック機能のあり方についてもさらに発展させていかなければなりません。

市長と議会がそれぞれの独自の権限と役割を持ち、相互に抑制と均衡の関係を保つことが大切です。議長を支え、住民から選ばれた地方自治機関として、地方自治制度、議会基本条例に基づき充実させることを表明いたしまして、私の所信表明とします。ありがとうございました。